



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水産研究部水産支援グループ 担当：辻村
TEL：072-495-5252 FAX:072-495-5600

プレスリリース

平成 27 年 2 月 6 日 14:00

関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

あこう（キジハタ）の親魚水槽を新設しました。
～来年度から安定的な 10 万尾の放流を実現、新たな大阪産（もん）ブランドに～

この度、当研究所水産技術センター（岬町）に「あこう」が産卵するための水深 3 m、水量 80 t の水槽を新設しました。

当研究所水産技術センターでは、大阪湾の魚をもっと府民に理解していただきたいとの思いから、大阪湾で漁獲される高級魚「あこう」に注目し、効果的な種苗生産技術と放流技術の開発を進めてきました。この研究がいよいよ実用段階に入り、大阪府や漁連とともに、新たな大阪産（もん）ブランドにしていくため、安定的な大量種苗放流を行うことにしました。

このため、今後数年間は漁業振興基金による 10 万尾以上の安定放流が可能な計画を立て、必要となる今回の水槽を新設しました。

「あこう」の生産には、産卵時の水深確保が必要なことから、水槽の深さを 3 m とし、現在は、平均全長 30 cm の親となる「あこう」123 尾をこの新設した水槽で飼育しています。親あこうは、6 月下旬から 8 月上旬の産卵期に備えています。

4 年後には、新たな水槽で採卵した「あこう」から育った魚が、府民の皆さんの食卓にも届く予定です。

（参考）大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部水産支援グループ

- ・魚庭（なにわ）の超高級魚「あこう」の増殖技術の確立

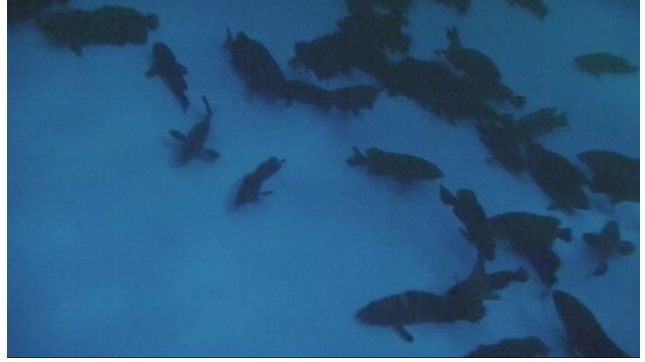
http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/_files/00057776/h26_20akou.pdf

- ・魚庭（なにわ）の超高級魚「あこう」資源回復への取組

http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/_files/00023665/h24-10kijihata.pdf

添付資料

（資料）水槽見取図



あこう親魚水槽